

蔵王をのぼりてゆけばみんなみの  
香妻の山に雲のいる見ゆ

斎藤茂吉 (赤光より)

## 特集！！

50周年記念・ふるさと訪問バスツアー6～8ページ

新シリーズ『楽・健・長』5ページ！



2012.7.1 ふるさと訪問バスツアー、東京飯豊会50周年記念桜植樹記念碑前にて(黒沢地区・スワンパーク)

写真/佐原利博(小白川)

## 会長あいさつ



みなさんこんにちは。皆様は健康やかに過ごされているものと存じます。今年から本会総会は3月から9月に変更になりました。3月は寒風により寒い時もあり、また雪で足下も取られることもありました。今回からは安心してご出席

戴けると思います。昨年の総会は130名の出席者が有り、津軽三味線の柴田3兄妹のショーを加えて盛大に行われ、会は大変盛り上がりました。今年は飯豊町出身者の会で日本民謡東流芳永会のショーを予定しています。

多くの方のご参加をお待ちしております。さて、地元飯豊町では、今年3月末置賜農業高校飯豊分校が65年の歴史に幕を下ろし、川西町の本校と統合。また中津川小・中学校は140年の

## 東京飯豊会会長 山口 弘二 (中津川)

歴史に幕が、手ノ子小学校と飯豊中学校に統合されました。私はこの中津川小・中学校の卒業生で、廃校を大変さびしく思っております。また地域の皆さんはなお更のことと思います。しかし、10名以下の生徒数では統合はやむを得ない選択です。飯豊町では少子化の問題に懸命に取り組んでおられます。また、廃校によって残る立派な校舎の使用方法についても検討中のようです。東京飯豊会会員の皆さんも何かいいアイデアがありましたら町役場にご提案されたいかがでしょうか。今年はアベノミクス効果で明るさが見え始めてきているようです。家に閉じこもっておられる方々は積極的に外へ出ていく機会です。最後に東京飯豊会は日頃のご支援に感謝すると共に皆様のご健康とご発展をお祈り致します。



**後藤町政の2期目がスタート**

任期満了に伴う町長選挙は、現職の後藤幸平氏が無投票で再選を果たし、昨年11月7日から後藤町政の2期目がスタートしました。

2期目のスローガンは「発見、創造、ふるさと新時代」。町長は、「蓄積された町のストックを再発見し、より前向きに創造的な視点で新たなものを創りだす」と、決意を新たに町のかじ取り役を担います。



飯豊町長 後藤幸平

**地域発案で雇用を生み出す**

町は、国の「実践型地域雇用創造事業」の採択を受け、平成24年度から26年度までに106人の雇用創出に向けた取り組みを行っています。

昨年2月に、町は、県、町商工会、JA山形おきたま飯豊支店、西置賜ふるさと森林組合及び町観光協会と共に、雇用創出構想を定めました。



企業向けの研修会の様子

国から委託事業の採択を受け、7月から構想に基づいた各種事業を行っています。

**山形県立置賜農業高等学校飯豊分校が本校に統合**

町内唯一の高等学校である飯豊分校が、平成25年3月をもって閉校になりました。

「質実剛健・誠実明朗・実践奉仕」の校訓のもと、これまで1,948名が巣立ちました。4月から、在校生は川

西町にある本校で学んでいます。

校舎と敷地は町の所有のため、閉校後の活用については、町民の意見を踏まえて現在検討中です。



飯豊分校の正面玄関

**飯豊町立中津川小・中学校が  
手ノ子小学校・飯豊中学校に統合**

明治5年に上原の雲洞庵を借りて開校した中津川小学校、昭和22年に開校した中津川中学校。平成9年には現在の中津川小・中学校が下屋地に併設されました。そして両校は、平成25年3月で閉校になり、4月から、手ノ子小学校・飯豊中学校にそれぞれ統合されました。

統合により、小学生では多人数の運動や合唱合奏などの学習ができるようになるほか、多くの友達と切磋琢磨しながら学ぶことができます。また、中学生ではすべての教科を専門教諭

の指導の下で学べることや、部活動についても選択肢が広がることから、より一層一人ひとりの可能性を伸ばすことが期待されます。

**町と喜多方市を結ぶ新道が6月開通**

平成25年6月に、飯豊町中津川地区と福島県喜多方市を結ぶ「大規模林道飯豊桧枝岐線」が開通しました。



大規模林道飯豊桧枝岐線の位置図(概略図)

(文) 飯豊町総務企画課総務情報室・勝負



ふるさとを思う時、3.11東日本大震災がどうしても頭から離れません。

特に原発事故の被害は、現役時代2年間郡山に赴任したことを思う時、今でも胸が締め付けられる思いです。

原発事故は本当に防げなかったのか！これからのこの国の有り様が問われていると思っているのは私だけでしょうか。

古希直前の私は昼寝のせいで眠りが浅くなっているのだろうか。

最近私はよく夢をみます。黒沢小学校らしき学校の教室に友達と一緒に50年前に逝った父親が居るなど、夢の中の不可思議な気分の自分に可笑しくなってしまう。しかし、そのような夢の中の“ふるさと”を愛おしく大切にしたいと思っています。そしてそれをサークル活動で習い始め

た、切り絵にしようと思っています。

高校を卒業し上京しようとしている頃から、ふるさとの風景は大きく変化した。農業の構造改善事業で田んぼは大きくなり、水路は基盤の目のように整然となりました。私の青き“ふるさと”はその前の光景です。馬と同居の曲がり屋、田んぼの代かきのませ取り、冬の固雪での肥え引きなど切り取りたい光景が走馬燈の様に浮かんでいきます。



「アンチャ」と「アンニャ」

佐原 芳弘 (小白川)



もう70年ほど前自分が子供の頃、実家は父母・祖父母・姉兄弟と叔父(父の末弟)・叔母(父の末妹で叔父の妹)の大家族であった。当時こうした大家族はそう珍しい事ではなかった。さて話は(とは言ってもそう大袈裟なことではない)、家族内での年長者に対する呼び方の事である。無論、親や祖父母に対してはそれなりの表現をしていたから話から除く。私(次男)や弟たちは、兄のことを「アンチャ」と呼んでいた。「お兄ちゃん」のことである。そして弟たちは私のことを「芳弘アンチャ」と呼び、同様の弟は上の兄たちに対し名前前にアンチャをつけて呼んでいた。ただし長兄には「アンチャ」一本である。ところで面白いことに若い叔父に対しては「アンニャ」と呼んでいた。叔母なら当然だが、姪・甥である私たち姉兄弟も生涯「アンニャ」だった。「アンチャ」も「アンニャ」も敬称で、当時日常会話で普通に使っていたが、その使い分けはよく判らない。しかも今思うと叔父に対する「アンニャ」という呼称はいささか不思議である。というのは一般的に叔父は「オンツアマ」というのが本来の敬称だった。たぶんそれは今も変わっていないと思う。それが我が家では「アンニャ」である。そこで考えられることは、叔母が父のことを「アンチャ」と呼んでいたので、叔父に対しては区別するため

「アンニャ」と呼ぶように育てられたものと推測している。私たち姉兄弟は若い叔父と叔母とは年齢差があまりなかったのも、叔母にならって自然と叔父を「アンニャ」と呼ぶようになったものと考えられる。年齢差のある末弟までが上に準じて「アンニャ」である。それにしても「アンニャ」という敬称は私にとって不思議で面白い表現であると首をかしげている。別に深刻になるほどの話ではないが、これを標準語に直したらどんな表現になるだろうか？詳しい方は教えて欲しい。

隣家に父より年齢が上で「金太郎」という名前のご主人がいた。我が家ではその方の事を「金太郎アンニャ」と呼んでた。

祖父母から末弟に至るまで「金太郎アンニャ」である。しかも「金太郎ジッチャ」と言われることなく、終生「金太郎アンニャ」であった。また昨年豊川中の同級会で、「〇〇アンニャ」がその後どうしたという消息が聞こえてきた。ということは「アンニャ」という敬称には、汎用性があるということである。その点「アンチャ」という敬称は、こういう使い方はあまり聞かない。つまらない話で恐縮している。ただ一つ付け加えると、年下の者と呼ぶときは、全て呼び捨てであった。昨今は自分の子供や孫に「チャン」付で呼ぶ方が多く、気になるのは歳のせいだろうか。

『ふるさと納税』 みんなで応援しよう (\*^\_^\*)!

## ふるさとの思い出

鈴木 清子 (高峰)



昭和36年飯豊中学校を卒業して早51年。「光陰矢のごとし」正しく実感です。

飯豊連峰を眺めながら自然に抱かれて育かれた事を改めて“幸福”と思える日々です。

昨年10月27日に椿の「がまの湯」で中学校の同級会がありました。参加者33名2年振りの出会いに心温まる時間を過ごし話が尽きない一時で

した。幼き頃の忘れられない思い出の一つに、雪が沢山降り積もった所に雨が降り冷え込んだ翌日は固雪。その上を何時もより近道をして登校出来る喜び！！今思えばその日は大人の方達も「道踏みはお休みだったのかな～」と思いを馳せて居ります。また同級生で唯一、女性議員として活躍されて居る方もおります。益々のご活躍を東京の地よりお祈りします。

## 思い出の学校

織田 英昭 (中津川)



先頃9月末日に一通の手紙が届きました。それは中津川小・中学校が平成25年3月で閉校に成るとの知らせでした。

明治5年に下屋地地区に校舎が建築されて以来140年の歴史が有る学校が少子化の為に閉校するとの事です。自分の子供の頃は「小・中学生を合わせて400名近くだったのに・・・」

と、ふと当時の事が蘇って来ました。グラウンドでは野球を、体育館では卓球、バスケット等色々楽しかった事を思い出しました。中津川出身の皆さんは淋しい思いをされて居ると思います。これで一つの時代が終わり、新たなスタートとして小学生は手ノ子小学校、中学生は飯豊中学校に平成25年4月から統合するとの事です。

## 飯豊分校の閉校に想う

小川 悦男 (椿)



子供の頃、我が家に働きに来ていたお兄さんが通って居た学校、今思うと萩生の旧豊原村役場を校舎として開校されていた豊原高等学校でした。昭和23年開校、私は昭和24年小学校一年生でしたが、今でも旧役場の建物をハッキリと覚えています。そして昭和28年に飯豊高等学校として椿に開校、休

みの度にグラウンドで野球をして楽しんだ思い出があります。その後、置農飯豊分校になりましたが歴代高校生徒の活躍は素晴らしいものが有りました。しかし少子化の波には勝てず本年3月には閉校、残念でなりません！！小さな飯豊町に高等学校が存在していた事を飯豊町出身者として誇りに思います。

## 中津川小・中学校閉校式に参加して

山口 弘二 (中津川)



中津川小・中学校の閉校式は去る3月23日同校体育館で行われました。これまで、地域では少子化を何とかしようとして山村留学制度を作って他県からの生徒を受け入れて努力してきましたが、生徒数は小学生1人、中学生7人だけとなり地元の強い要望に飯豊町・教育委員会では存続に力を尽くしてきましたが、刀折れ矢が尽き遂に閉校に追い込まれました。

140年の歴史のある学校。中津川という緑豊かな自然環境の中で育つ生徒たちのひたむきな努力と教職員の献身的な指導により各種コンクールやスポーツ大会など文武両面で優秀な成績を収めてきた学校です。

閉校式には300人の生徒、教職員、保護者、卒業生、町関係者が出席しました。後藤町長ご挨拶、齋藤校長ご挨拶があり、生徒代表の高橋未咲君の

「僕たちは中津川小・中学校の最後のランナーとしての誇りを持ち・・・この学校で培ってきた力をこれからの生活に活かし、堂々と未来に進んでいくことを約束します」と力強く挨拶、出席者から大きな拍手を受けました。式典後生徒全員でよきこいソーランの舞を披露。続いて行われた懇親会では卒業生を代表して、私が小・中学校の思い出話のスピーチをし、離れていく生徒達へ励ましのエールを送りました。

学校の玄関前には飯豊山を形取った閉校記念碑が建立されて「蛍雪を経て大河に向かう」と刻まれ、この立派な学校の存在を永遠に残しています。

出席者からの大きな励ましを受けて、力強く進んでいく生徒達を見て、町の未来の発展を感じ取り式典を後にしました。





## ふるさと訪問ツアー雑記

新野 孝司 (添川)

6月30日(土)7時15分。好天に恵まれ、東京駅八重洲口、役員の法被姿に迎えられ、45名遅刻も無く集合・出発。50周年記念行事の最後のイベントは東京スカイツリーの見送りを受けながら、一路ふるさとへの旅。山口会長(実行委員長)の挨拶、事務局の行程説明、自己紹介、飲み物等の配布を受け、前後左右の席の収まりがつく頃、会話も弾み和気藹々の様子に幹事さん一安心。蔵の町喜多方でラーメン昼食。七福神像に出会いご満悦。道の駅「めざみの里」に立ち寄り、夕刻白川荘に到着。パターゴルフ場脇を桜植樹の確認の散策。撫でたり摩ったり、早期生育をお願いしました。懇親会は後藤町長様、菅野議長様、議員様、観光協会様、植樹記念石碑作成業者様9名のご出席のもと、会長挨拶で「訪問ツアーの意義と喜び」、町関係者への謝意があり、町長様からは歓迎と共にふるさとの変わらぬ自然と暖かい心を受けと

め、人口減少化のなかではあるが、今まで以上に誇れる活力ある町づくり・観光の町・ふるさとにしていく旨挨拶があり、安堵と発展を願いました。郷土料理とどぶろく、わらびの1本漬(差し入れ)を堪能。大黒舞の披露・カラオケで最高潮。翌朝、スワンパークで桜植樹・石碑を確認。ユリ園での鑑賞そしていよいよ、黒べこ祭り飯豊牛(米沢牛:A5)思いっきり頂きました。うまい肉にはタレより塩(道の駅売店)が合う。南陽市でさくらんぼ狩り、(有)大浦ぶどう酒での工場見学、五種類の試飲を楽しみ、ふるさとの土産を購入し帰途につきました。救急箱を開ける事無く、幹事さんの事前準備・お骨折りによって何から何までハッピーでした。ご参加の皆さん、関係者の皆さんに感謝申し上げますと共に、「5年後といわず又早期の開催をお願いします」の声が有ったことを記し、ペンを置きます。

## バスツアーに参加して

国分 秀高 (萩生)



この度の東京飯豊会・ふる里訪問バスツアーに参加するのは5年に一度の楽しい旅行です。平成24年6月30日~7月1日。一泊二日の予定で東京駅集合。ふる里飯豊町へと心はずみ『嬉しくて、昨夜は眠れなかった』とバスの中で多く耳にしました。我が家のご近所の方2名も参加を頂き、皆さんの思いを胸に首都高速・東北道を通り、昼食後飯豊町に入り、今晚の宿白川荘へと向かいました。夜はお楽しみの宴会、町の人との交流、おいしい料理おいしいお酒の舌鼓を打ちながら大変盛り上がりました。特に地元のお酒「どぶろく」は飲み

やすく、つつい飲みすぎてしまいました。翌日はスワンパークの桜植樹地を視察して一番のイベント「黒べこ祭り!!」天気にも恵まれて、焼き肉パーティが始まりました。米沢牛の本家ともいわれる飯豊牛は、とても柔らかく美味しくお腹一杯食べることができました。一緒に行った東京出身の二人もとても喜んでおり飯豊町を満喫した様でした。「このような機会があったら、また是非参加させて頂きたい」との事でした。そのような言葉を聞けたことがとても嬉しく、そして飯豊町の思い出を胸に帰路につきました。

## ふる里訪問バスツアーに参加して

二瓶 文夫 (添川)



今回のバスツアーの参加は、私にはもう一つの目的が有りました。ここ八年来帰れなかった、実家の両親の墓参りです、夢の中に、両親の姿を頻繁に見る様に成り「お前たまには故郷へ帰って来いよ」と背中を押される様に参加しました。当日中央線に揺られ、東京駅集合場所に到着した途端に聞こえてくる方言の数々、懐かしさの余り故郷への想いが一気に高まりバス乗車総員40数名和気あいあい故郷へ・・・車窓に流れる懐かしい故郷の景色、心の底から込み上げて来る忘れかけていた色々な思い出が脳裏を駆け巡る。やはりここが、自分のふる里なんだと改めて思う。夜、白川荘での飯豊町との交流会翌日仲間と連れだって公園散歩、植樹されている桜の木を見ながら思った事“雪に潰され傾いた木、枝が裂けた

木、枯れかかった木”一本も無傷の桜が無い様でした。やはり雪深い山間部での管理の難しさが浮き彫りになった様な気がする。スワンパークに兄嫁の迎えを貰い、先祖両親の墓参りに懐かしい場所に立ち、永年のご無沙汰でしたと墓前に手を合わせ、自分の心の中にわだかまっていた事が洗われる思いでした。無事墓参も叶い、姪に送られ黒べこ祭り会場に、兄も家族で参加、会場では先輩後輩、近所の人達に、声を掛けられ懐かしく思いました。黒べこ祭り参加は、20年程前一度味わい久々に食べる牛肉は美味かった。大浦ワイン、サクランボ狩りなど楽しかった思い出とお土産をカバン一杯詰め込んで、帰路の途に。楽しかった2日間、色々な思い出を作ってくれた旅!人生の一ページに綴りたいと思います。役員の皆様本当に御苦労さまでした。



### 50周年記念バスツアーに参加して

草加から参加させて頂きました染谷です。生まれは埼玉県秩父です。趣味は山歩き、スイミング等です。お誘い頂いた森田さんとは10年来のお付き合いになります。飯豊会の皆様方には、はじめて参加した私達に本当に親切にしてください、楽しい旅行が出来ました。有

### 染谷 ミヤジ (秩父出身)

り難うございました。以前にも飯豊町にはお邪魔したことがあります。何度伺っても飯豊町は良いですね。人が優しい、食べ物が美味しい、なんと言っても自然が素晴らしい。機会があればまたお伺いしたいと思っております。本当に有り難うございました。

### ふるさとバスツアーに参加して



6月30日早朝、故郷飯豊に向かって八重洲を出発です。事務局の志田さんの名ガイドで楽しいバスの車中は修学旅行の様です。昼食場所の喜多方に入り飯豊山が見えて来ると皆で歓声が上がり嬉しそうでした。白川荘に早めの到着、湖畔を散策しながら植樹した桜の木の成長を喜びました。町長さん始め町の方々や“大黒舞”の歓迎を受け、楽しい宴会が始まりました。近くの山で採れた山菜料理や漬物が並び大好きな「どぶろく」にも満足でつい飲

### 森田 希世 (萩生)

みすぎてしまいました。翌日どんでん平の“ゆり園”の展望台まで全員徒歩で登りそこから美しく広がる緑の水田と散居集落を望みました。数年すれば「スワンパーク」の畔に咲く満開の桜を眺める事が今から楽しみです。“くろべこ祭り”の米沢牛(飯豊産)を美味しく頂いた後は赤湯の“さくらんぼ狩り”とワインの買い物をして帰路に着きました。同行した友人3人も飯豊の旅に満足の様子で嬉しく思います。会長さん始め役員の皆様には大変お世話になりました。



### ふるさとバスツアーに参加して

先日はいろいろお世話に成りました。お蔭様で毎日楽しく暮らしています。「山・川」大自然の中で育った方々はこんなにも“あたたかい”のですね。羨ましいで

### 浅見 節子 (奈良県出身)

す。50年・・・年月がたってもふる里を思うふれ合いを大事にしている姿に感動しました。そして心が豊かに成りました。ありがとうございます。今後共よろしく願いいたします。



### ふるさと訪問バスツアーに参加して

“サァ〜”一泊二日(6/30,7/1)ふるさと訪問バスツアーの出発です！私の大親友、中村さんのお誘いで一緒に参加です。バスツアーは二回目の参加です。ふるさと訪問ツアーの目的地は飯豊町、(ちなみに私は埼玉県羽生市の生まれです)バスに乗り込んだ途端ビックリ！！ふるさと言葉が飛びかかります「いいな〜みんな楽しそう」そして山口会長の挨拶から始まりツアー参加者さんのそれぞれ個性あふれる自己紹介も楽しかった。バスの中で飯豊中学校の校歌を合唱、これは本当に感動しました。それに白川湖畔のダムの話やスワンパー

### 佐藤 悦子 (練馬区在住)

クの桜の木の話や色々な話が沢山ありました。ゆり園の展望台から見渡す景色は飯豊町を一望に出来る誇るべき“散居風景”の最高の眺めでした。ゆり園のメインイベントの“くろべこ祭り”、最高級の“米沢牛”(飯豊産)のバーベキューは一杯飲みながら新鮮な野菜と共に舌鼓を打ちました。またまた驚いた事には宿泊した白川荘からの帰りのバスが実家の前で停車し言葉を交わしたり、実家の前を通ると見送りの人たちが待って居て手を振ってくれたり“ふるさとツアー”だからこそ出来る事だと思いました。本当に素晴らしく、楽しい思い出に残る旅でした。残暑の日差し

### 飯豊会バスツアーに参加して



東京飯豊会結成50周年 おめでとうございます。飯豊町には何度かお邪魔させて頂いておりますが、50周年という記念の行事に部外者の私たちを暖かく迎え入れてくださりありがとうございました。人とのつながりが薄れている昨今、飯豊会の皆様方の気遣

### 岩崎 和江 (三宅島出身)

い、思いやりに感謝しつつも甘えっぱなしの二日間の旅行でしたがこれからも飯豊会が益々発展することを願っております。機会がありましたらまたお会い出来ることを楽しみにしております。大変有り難うございました。





## 第51回東京飯豊会総会・懇親会盛大に挙行政

平成24年3月4日(日)日暮里「ホテル・ラングウッド」にて会員様、後藤町長、菅野町議会議長、他議員の方々、町行政関係者、JAおきたま飯豊支店、友好団体の東京川西会、関東致芳会、花回廊ようざんろーどを作る会の皆様をお招きし160名余の参加で女性初の第一部司会、広報部・齋藤ふみゑの開会宣言により開催されました。第一部は山口会長の51回総会に多数参加頂いたお礼の挨拶。続いて会務・会計・会計監査報告と議事が進行。来賓の挨拶では後藤町長より豪雪の為に除雪費用が莫大に成り現在も“ふるさととは雪の中”とのお話。震災の時は南相馬市から360名を受け入れ、まだ60名残って生活されて居る。福島の高多方と飯豊を結ぶ道路が今年開通し

町の経済、観光の発展に寄与する事は嬉しいニュースだそうです。第二部は菅野議長による“どぶろく”での乾杯で幕開き。イベントは「柴田三兄妹」による津軽三味線のステージ。息の合った三人の熱演に割れんばかりの大喝采の会場。アンコールの拍手の波、波、波！ 続いてお楽しみ大抽選会、「今年も“つや姫”当たるよ〜」 あっち、こっちからの歓声で大盛り上がり！最後は全員で“ふるさと”の大合唱♪♪♪町から中村副議長、当会から国分副会長による万歳三唱でお開きと成りました。「来年もござっておごえな〜」の声に送られて帰路に付られました。(齋藤ふみゑ記)

# 祝 第51回東京飯豊会総会



山口会長挨拶



後藤飯豊町長挨拶



カンパニー



ベン、バンバンベン♪ ハアッ！



揃ってハイポーズ！



女性初の一部司会  
さいとうです



ロつけてのむべ〜



いやいや〜しょしごどー



美味そうだからごっごうになるべ



町長賞、嬉しい〜！！



会長賞！ 初めてのだー



来年も元気で逢いましょう！



当り〜25番！



# 平成24年度 年会費納入者御芳名 (敬称略)

H24/12/31現在

会員様248名の方々に年会費を納入頂き会の運営・維持並びに会報の発行が出来ました。

有難う御座いました。

黒沢 16	梅津勝美	蒲谷春夫	菅野由佳	国分正子	小林秀	佐藤善吉	佐藤忠志	島貫富栄
	鈴木美佐子	高橋雅子	長沼モエ	中根友利子	原田洋子	平山くに	森田和美	渡部忠雄
小白川 23	石島サダ	石森浩子	上田隆	太田節子	小野幸一	片岡豊子	川添美代子	佐原竹男
	佐原芳弘	佐原政晴	鈴木勝郎	平君代	高橋八郎	田辺俊彦	為藤よしゑ	千葉マサヨ
	土屋ゆき子	舟山清次	舟山睦男	舟山吉次	溝呂木キミヨ	吉澤とみ子	渡部金次郎	
添川松原 28	芦川裕子	安部正良	伊藤憲子	井上秀雄	上野文次	宇田京子	梅津勲	遠藤一夫
	遠藤清	遠藤悠紀子	勝見俊秀	金原ちゑ子	小関こう	小松勇吉	斉藤勝	佐藤よね子
	山水まさ	志田俊作	島田四郎	鈴木孝男	高橋はま子	田中とし子	新野善行	二瓶文夫
	村田忠一	森博子	山口紘紀	米野礼子				
高峰 10	伊藤正光	井上志げ	井上庄栄	沖田みゑ子	小関恭雄	佐藤剛	鈴木清子	高橋正弘
	本間元	横山文男						
榑 23	青山辰夫	安部貞夫	伊藤薫男	井上博司	上原三男	太田千代子	大富博	大庭信夫
	岡文子	岡本輝子	片野英子	加藤洋子	菅野栄三	北原重行	小林まち	佐藤ます子
	高橋叔子	高橋弘子	中村幸子	新野豊明	長谷部葉	船山健次	松山倉夫	
手ノ子 19	青木久勝	安部和男	池田典子	今原幸子	大野ツヅエ	奥山俊昭	奥山保弘	金森美恵子
	小池喜美恵	佐村孝作	佐山次夫	島田源三	鈴木三男	竹田輝夫	舟山清成	舟山好一
	舟山繁勝	横山ユウ子	渡部昭雄					
中 30	青木勝美	青木しげ子	青木道子	栗飯原操	朝倉建	位下和子	大石昌子	工藤コウ
	佐久間文子	篠原五郎次	島貫勝利	嶋貫浩	島貫日出子	島貫正十三	城戸かつ子	鈴木 昌
	鈴木昭作	高尾美世子	高橋英子	田所昌子	長岡信司	長岡俊昭	新留静子	錦織明美
	野原致子	峯田有一	若林敬一	渡部恵司	渡部清三	渡部聡征		
中津川 23	伊藤孝美	井上啓助	井上与一	井上良子	小川京子	奥田百合子	鴻巣邦夫	古藤光康
	後藤篤志	後藤昭輔	近藤和子	酒井博	鈴木政次	鈴木芳助	原 慶子	星野信助
	丸山光雄	三田美保子	峯岸浩夫	山口哲男	横山建司	渡邊晶子	渡辺常雄	
菘生 41	青木美智子	五十嵐ヨシ子	伊藤光栄	伊藤武	浮谷栄子	宇津木榮三郎	宇津木秀三	宇津木吉美
	梅津文蔵	海老沢真砂子	岡野芳子	小野寺瑠璃子	加藤功	嘉藤秀一	嘉藤六郎	狩野文
	菅利夫	菊地清	木村清	組谷のぶ子	後藤勝男	後藤定夫	後藤節子	小林スイ
	坂本喜美子	佐藤豊子	高橋勝治	高橋茂夫	高橋みつ	滝浪とも	谷口秀子	手塚太
	中西孝	長谷部俊美	樋口孝	広瀬広子	森田希世	山田正子	渡部新吾	渡部とく
	渡部博士							
役員 35	池田さだ	伊藤茂	井上和雄	今村ひろ子	小川悦男	織田英昭	男鹿善次	川合かよ子
	川村博	国分秀高	斉藤ふみゑ	佐藤包子	佐藤善治	佐原利博	志田幸次	志田義雄
	島田栄子	鈴木伊勢夫	高橋正孝	土田正一	手塚敏浩	手塚久雄	中澤サタ	長沼清
	中村美寿	新野孝司	樋口昭二	深瀬忠次	宮城慶吾	山口弘二	山口美恵子	横山忠雄
	吉田キヨ	渡部志郎	渡部隆					



# いいで“Fun” Club ただ今、会員募集中!!

いいで“Fun” Clubには2コースがあります。詳しくは  
下記事務局までお問い合わせ下さい。

★ トクトク情報コース 年会費 1,000円

★ 特選旬の味覚コース 年会費 3,000円



飯豊町観光協会  
会長 高橋 眞

— お問い合わせ —

いいで“Fun” Club 事務局（飯豊町観光協会内）  
〒999-0604  
山形県西置賜郡飯豊町大字椿 1974-2  
TEL: 0238-86-2411 / Fax: 0238-86-2422  
mail: fun@iikanjini.com  
URL: <http://www.iikanjini.com/fun/>

つくり手の想いを  
届けます...

## 生産者の顔が見える米

マルシチ米穀株式会社

〒999-0602

山形県西置賜郡飯豊町大字萩生 3587

電話: 0238-72-2016 FAX: 0238-72-2807



炊飯加工食品も扱っております。

品目: おにぎり・お弁当・生もち・白切り餅・味噌切り餅、糸切り団子、巻き寿司  
赤飯・五目おこわ 等

写真: マルシチ米穀直営店 米と自然の探遊館



時代が変わっても、受け継がれていくものがあります。



# 株式会社国分石材

〒999-0602 山形県西置賜郡飯豊町萩生4536-1

代表取締役 国分 剛

TEL.0238-72-3738 Fax0238-72-3753

国分石材ホームページ<http://www.kokubunsekizai.com>

飯豊町情報満載！→

トヨタ自動車運営gazoomura  
東北ブロック飯豊担当「石屋のおっか」ブログ

ガズームラで検索してみてください！



## 総合燃料業 株式会社 梅津商店



萩生本店  
☎023872-2155

ENEOS 椿店  
☎023872-3109

ENEOS 添川店  
☎023872-2622



がまの湯

山形県いで湯と味覚の宿

静かな山あいの中にあたたかみあふむがまの湯  
飯豊山、四季の美しさを奏でる中、  
心安らぐまごころの宿いで旅館  
湯・味・宴、それぞれの趣を存分に…



がま足の湯



山形がまの湯  
音酒とぶるぐ!  
(期間限定11月～5月末)

山形県 いで湯と味覚の宿 東北のガマ がまの湯温泉

 **いで旅館**

〒999-0604 山形県西置賜郡飯豊町大字椿1194

**TEL.0238-72-3706(代)**

FAX.0238-72-3709

URL <http://www.q-pop.ne.jp/gama/>

E-mail [gamanoyu@jan.ne.jp](mailto:gamanoyu@jan.ne.jp)



おいしい自然いちはやく、  
四季ある幸せ、JA山形おきたま。

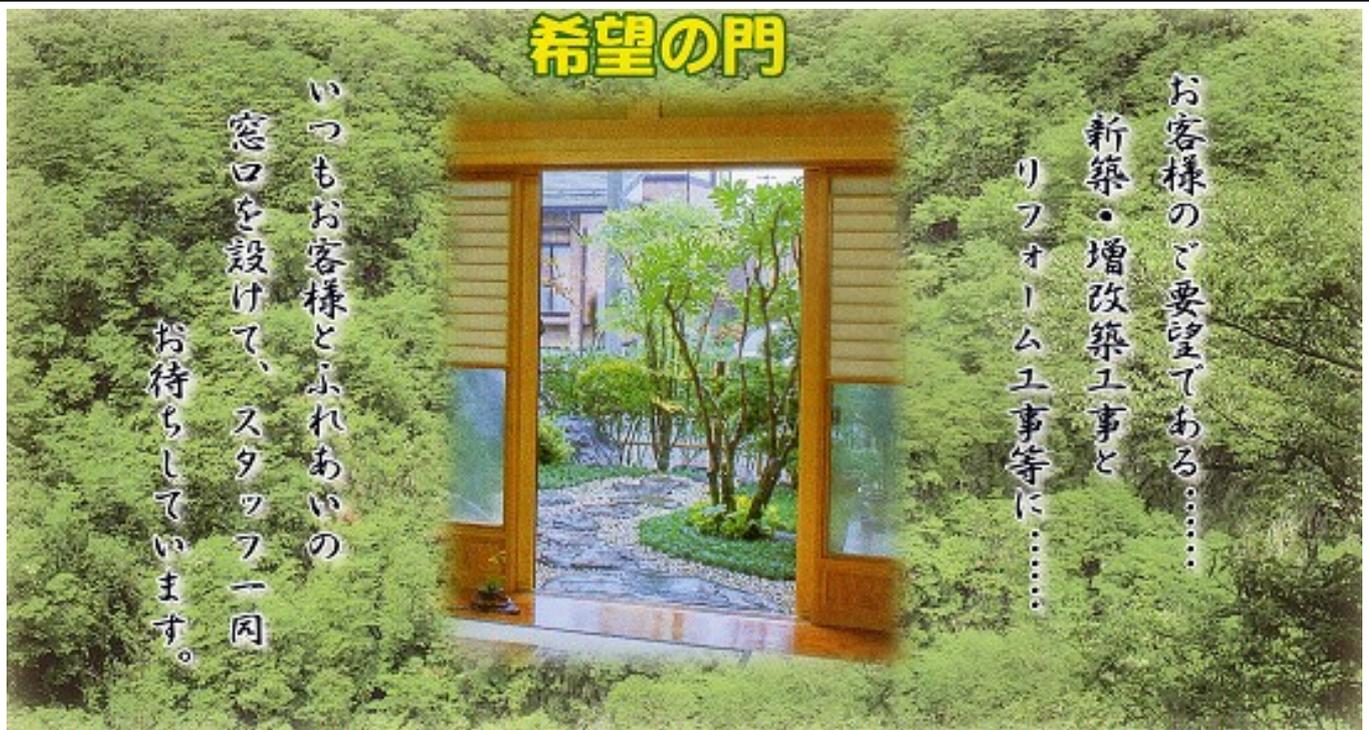


は、おいしさの基本です。

 **山形おきたま農業協同組合**

本店 / 〒999-0121 東置賜郡川西町大字上小松978-1  
TEL0238-46-3111(代) FAX0238-46-3335

## 希望の門



いつもお客様とふれあいの  
窓口を設けて、スタッフ一岡  
お待ちしています。

お客様のご要望である……  
新築・増改築工事と  
リフォーム工事等に……



株式会社 協和ハウス

代表取締役

長沼 繁義

座右の銘 “実直邁進”

在来工法、木造建築の道の極みに入りすでに40年を経過致しました。私のモットーとする、実直に邁進する精神を大事にして頑張ってきました。

住まいは語らいと憩いと休息が出来る空間でなければなりません。木の優しさを肌に受け止め、良さを生かしお客様各位に喜んで頂ける家造りに今後も頑張ります。

〒999-1111 飯豊町大字手ノ子1413-1 TEL 0238-75-2413

## 環境・水・快適な生活を守り続けて52年

株式会社 佐藤管工業

代表取締役 佐藤正一

〒 999-0602

山形県西置賜郡飯豊町大字萩生615

TEL 0238-72-2191

FAX 0238-72-2192

上下水道・給排水・衛生設備・浄化槽工事  
ボイラー設備・空調設備・消雪工事  
設計・施工・保守管理  
住宅設備機器販売

造園・土木・設計施工・庭園管理

産業廃棄物収集運搬・大型クレーン作業一式

# 株式会社 伊藤造園土ホ

〒999-0604

山形県西置賜郡飯豊町大字椿2529-12

TEL 0238-72-3935

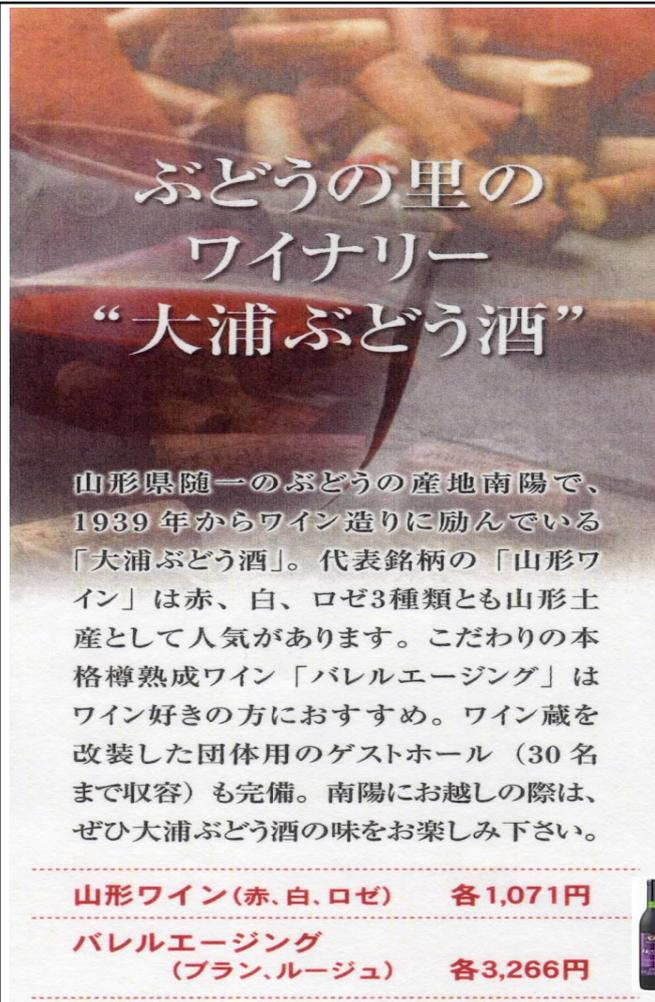
FAX 0238-72-2093

<http://www.ito-zouendoboku.com/>

どんな困難な  
立木でも  
伐採から運搬  
廃棄処分まで

相談・現場下見  
見積無料!

山形県知事(特-21)第600368号  
山形県知事(般-21)第600368号  
産業廃棄物収集運搬許可番号132304



ぶどうの里の  
ワイナリー  
“大浦ぶどう酒”

山形県随一のぶどうの産地南陽で、1939年からワイン造りに励んでいる「大浦ぶどう酒」。代表銘柄の「山形ワイン」は赤、白、ロゼ3種類とも山形土産として人気があります。こだわりの本格樽熟成ワイン「バレルエージング」はワイン好きの方におすすめ。ワイン蔵を改装した団体用のゲストホール(30名まで収容)も完備。南陽にお越しの際は、ぜひ大浦ぶどう酒の味をお楽しみ下さい。

山形ワイン(赤、白、ロゼ)	各1,071円
バレルエージング (ブラン、ルージュ)	各3,266円



有限会社  
大浦ぶどう酒

山形県南陽市赤湯312  
TEL.0238-43-2056  
<http://www.yamagatawine.com>

営業時間■9:00~18:00 無休(不定休あり)  
※見学は要予約(無料)

赤湯駅 R113 至新潟  
烏帽子山 八幡宮  
R113 大浦ぶどう酒  
R113 至山形・仙台  
当ワイナリー看板  
至米沢・東京

# 帰郷の宿は 源泉100%

ご宿泊 1泊2食付 ¥5800より

ご入浴 日帰りご宴会

大広間休憩 個室休憩

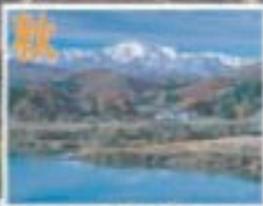
食事処 お土産処



いいで 添川温泉  
**しらさぎ荘**

〒999-0605 山形県西置賜郡飯豊町添川3020-5  
電話 (0238) 74-2161

## 四季折々の風景



## 四季折々の味



山菜



ヤマメ



きのこ



どぶろく

通常コース  
**8000円~**  
春期間限定  
わらび狩り宿泊プラン  
平日 **11000円**

秋期間限定  
松茸三昧コース  
平日 **13000円**  
どぶろく新酒は12月初旬~



白川温泉いいで **白川荘**  
〒999-0424  
山形県西置賜郡飯豊町大字数馬218-1  
TEL.0238(77)2124 FAX.0238(77)2125

# 飯豊町第三セクター 連絡協議会

住所 飯豊町松原一八九八番地  
(めざみの里観光物産館内)  
電話 〇二三八一八六二九九

# おいしいもの交差点



観 光 物 産 館  
MEZAMI

道の駅いで  
めざまの里観光物産館

飯豊町松原1898番地

電話 0238-86-3939



飯豊町第三セクター連絡協議会

住所  
電話

飯豊町松原一八九八番地  
(めざまの里観光物産館内)  
〇二三八一八六二二九九



イールバ

・ 営業時間 ・

AM11:00 ~ PM3:00 (ラストオーダー PM2:30)

PM5:00 ~ PM9:00 (ラストオーダー PM8:00)

・ 定休日・・・月曜日 (月曜が祭日の場合翌日)

# 飯豊米

お届けいたします



お問い合わせは 添川の

**(有) 銀波**

代表 新野純一

TEL 0238-74-2147

FAX 0238-74-2031

eメール [ginnami@beige.plala.or.jp](mailto:ginnami@beige.plala.or.jp)

## 地元肉専門の店



飯豊牛・白川漬・馬肉・さくら肉

**(有)肉のすがい**

飯豊町添川 3 1 7 6 - 5  
TEL0238 (74) 2212 FAX0238 (74) 2262

# 関東よもぎだ会・ご参加の御案内

山形県置賜農業高等学校、飯豊高等学校（分校）同窓生の集まりです。

年会費 1,000円 会報 『逢田』送付

総会及び懇親会を毎年3月に本部より同窓会会長、校長、事務局が出席して行われますのでご希望の方は下記までご一報ください。

関東よもぎだ会 会長 佐々木政夫（川西町出身）  
事務局 小川悦男（飯豊町出身）  
連絡先 〒202-0003  
西東京市北町5-4-3  
☎・FAX 042-421-7824  
携帯 090-3139-2210

小学校第140回  
中学校第66回

## 創立記念式・記念講話

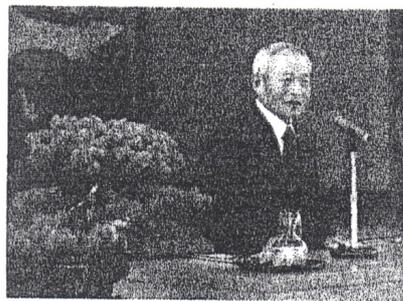
2012年11月発行の中津川小・中学校便りより転載

11月9日（金）、本校最後の創立記念式が挙行されました。式典の中では校長式辞（表面に掲載）に引き続き、伊藤PTA会長様よりご祝辞をいただきました。伊藤様からは、“残り少ない期間、本校の伝統を踏まえ、中津川小・中学校に選ばれた最後の覇者として、精一杯活躍して欲しい”という激励の言葉をいただきました。

そして、式に引き続き、本校の大先輩である山口弘二様（東京飯豊会会長）より「先輩からのメッセージ～夢の実現に向けて～」と題して記念講話をいただきました。その中で山口様からは、大きく3つのメッセージをいただきました。1点目は「コミュニケーション力を身につけること」。2点目は、「夢を持ち、その実現に向けて努力を惜しまないこと。」そして3点目は、「何事にも興味をもって臨むこと。」でした。いずれご自身の体験を交えてお話をいただいたことにより、とてもわかりやすく、また、特にホンダのF1チームの一員として参戦していた頃の話などは、みんな大変興味深く聞かせていただきました。

これからそれぞれ広い社会に飛び出そうとしている子ども達が、将来大きな転機を迎えたとき、きっと山口様から学んだ言葉を道標として頑張ってくれるものと期待しています。

また、残された期間4ヶ月余り、「感謝」の思いを大切に、1日1日を大切に過ごしていきたいと思っております。



### はつらつ運動会



11月16日のロング屋休み、子ども達と職員が一緒バスケットボールを楽しみました。10対10の対戦です。ナイスプレー（子ども）と珍プレー（職員）の連続で、とても楽しいひとときを過ごしました。

『ふるさと納税』  
みんなで応援しよう

(\*^\_^\*)!

2012/11/16付・山形新聞より転載

日頃から勉強大事  
OB山口さん講演

飯豊・中津川小中

本年度で閉校する飯豊町中津川小中学校(斎藤芳昭校長、児童生徒8人)の創立記念式が9日行われ、同校OBで東京飯豊会会長の山口弘二さん(74)埼玉県所沢市IIが「先輩からのメッセージ」夢の実現に向けて」と題し記念講話したII写真。

山口さんは本田技術研究所に勤務し、自動車のトランスミッション開発に携わった。講話では研究の苦労や、F1チームに入ってきた界を舞台に仕事をしてきた



ことなどを紹介。伝えたい三つのこととしてコミュニケーションの大切さ、夢を持つこと、何にでも興味を持つことを挙げ「自分の命運を分けるチャンスに、進むべき道を選ぶには、日頃から勉強して頑張らなくてはならない」と訴えた。

講話後、生徒代表の3年安部真人君が「コミュニケーションの大切さを知った。自分の意思をしっかりと伝えられるようになりたい」と感謝の言葉を述べた。

役員会・部会便り

おくやみもうしあげます

- 中本貞夫 (黒沢)
- 安部厚一 (小白川)
- 安部春次 (小白川)
- 小野六郎 (小白川)
- 佐原正幸 (小白川)
- 伊藤幸子 (添川)
- 木村みつ (添川)
- 小関恭雄 (高峰)
- 手塚三男 (椿)
- 渡部聡征 (中)
- 男鹿善次 (中津川)

\*東京飯豊会員募集中!!

少子高齢化進行中  
友人知人、同級生、親類縁者  
皆さんのご存知の方で飯豊会  
員に未加入の方をご紹介くだ  
さい!!!

組織部長 渡辺隆  
048(463)0767

\*広報部員募集中!!

広報編集、発行、P/Cに  
興味のある方募集中です!  
お気軽にお声お掛け下さい!  
一緒に楽しくやりましょ  
う!!!

広報部長 井上和雄  
042(551)0222

編集後記

広報部からのお願い

次号に向け、会員の皆様からの原稿、新シリーズ『楽・健・長』の生きがい、楽しみ、又ふるさとの思い出、同級会案内、日常の出来事、弊会や町の思い出の写真、短歌・俳句、ふるさと情報など何でも(600字程度)を下記までお寄せ下さい。

広報部長 井上 和雄

TEL&FAX: 042-551-0222

〒190-1214 東京都瑞穂町むさし野 2-3 7-5

e-Mail inouekkhs@ybb.ne.jp

事務局長 志田 義雄

TEL: 049-244-3940

〒350-1136 川越市下新河岸 6 9 - 6 6

\*【人は目標を失った時、心の老いが始まる】と三浦雄一郎さんは著書に記し、2013/5月世界最高齢80歳でエベレスト登頂に成功されました! すごい人です! 益々若い! 目標大事ですね!!!

\* 新シリーズ『楽・健・長』の高橋英子さん(中)の『後半を悔いなく生きる』読まれましたか? 飯豊会員の中にも元気潑刺、人生を楽しまれ、生き活きと過ごされている方がおられます。是非見習いたいものです。

\*ふるさと訪問バスツアーでは大勢の町民の方々とお会いし絆を深く出来ました。又町の企業家の皆様には広告掲載を快く引受けて頂き多くの広告を掲載する事が出来ました。有り難うございました。引き続きご支援の程、宜しく願い申し上げます。(井上記)

編集: 齋藤ふみゑ、深瀬忠次、伊藤茂、志田義雄、渡部志郎、井上和雄